

# 留学生新聞

< 第1号 > (創刊号)

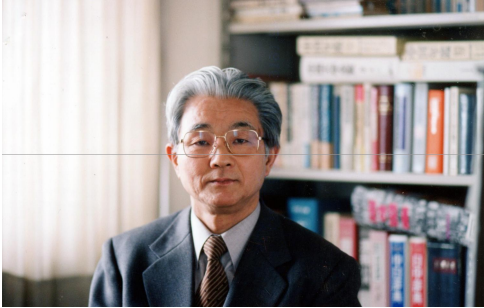
2003年9月18日 発行

〒512-8512 四日市市萱生町 1200 番地

tel:0593-65-6588(代)

発行：四日市大学留学生会

協力：四日市大学留学生支援室



留学生支援室室長 教授 西牧義江

## 勇気とプライドを持って

「四日市大学留学生新聞」発刊おめでとうございます。

留学生が自分たちで企画し、取材、編集してできた「留学生新聞」“第一号”だけに大変うれしく思います。留学生の皆さんは、いろんな国から、それぞれ一人ひとりが、目的を持って、ここ四日市大

学で学問のおもしろさと厳しさを学んでおります。

専門としての学問だけではなく、日常生活のなかで、いろいろなことを見て、聞いて、話して、人間としての自分自身の生きがいを模索しているわけです。

そこには、留学生としての勇気とプライドがあるからこそ、存在価値があるのだということを、この機にもう一度、改めて考えてみては如何でしょうか。

## 留学生支援室の開設

2003年の4月、本学の管理棟1階に留学生支援室が開設されました。

常駐する専任スタッフが、勉学に関わる相談から、生活の悩みまで、きめ細かに対応しています。たとえば、日本語能力からくる焦り、進路・就職に対する不安等々、さらにアルバイトの斡旋など、一人



ひとりの相談に応じて、留学生生活をサポートしています。

また、各学科から選出された留学生担当教員による指導、日本人学生との交流をはじめ、小学校への出張講座、地域社会との交流、及び日本語弁論大会の出場など、さまざまなイベントの企画や支援をしています。

# 留学生生活

## 研修旅行に91名参加！

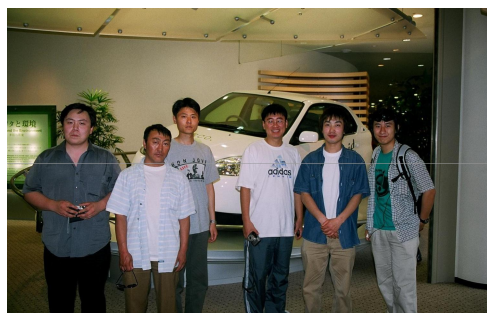


6月20日、毎年恒例の研修旅行は、「トヨタ自動車工場」へ見学に行きました。

この研修旅行は、日本の伝統文化に触れたり、日本を代表する企業を訪問したりと今年で7回目を数えます。

9時45分、集合時間が近づくにつれ、いつもの顔ぶれが揃い始めます。案の定、時間に間に合わず、遅れてくる学生や集合場所を間違える学生。それでもようやく、全員の顔ぶれがそろい、バスは大学を出発しました。

1時間30分程、バスに揺られた私たちは、「スタミナ刈谷」でバイキング形式の昼食をとりました。いろいろな国からきた留学生のみんなにとって、和・洋・中、様々な料理が並べてあるバイキングはとても魅力的で、その風景は、まるで食材を全て食べ尽くすかの勢いで、テーブルと食材が置かれているカウンターを歩き来しています。



昼食を終えた私たちは、その後、トヨタ自動車工場へ向かいました。トヨタ自動車工場に到着すると、まずトヨタ会館を見学。車の部品の紹介や体験クイズ、車の展示などがありました。みんないろいろな車にのったり、写真を撮ったりして楽しんでいました。将来のマイカーを決めている学生の姿も見受けられます。

また、ショールームのお姉さんと写真を撮ったり・・・。

次に実際に自動車を組み立てている工場を見学しました。

レーンに沿って車が移動していき、それに1つ1つ担当の人が部品をつけていました。

車が出来ていく様子がよくわかり、機械と人が上手に共同していて驚きました。あっという間の一日でした。無事、大学に戻り、ホッとひと安心。

準備が大変だったと思いますが、留学生会会長のリュウゲンさん、副会長のロックとヒツさん、そして早川さん。それから今回の旅行にご協力いただいた皆様、とても楽しい旅行をありがとうございました。

留学生のみんなにとってこの一日は、とても楽しく思い出に残る一日になったことだと思います。

### 参加者の感想文

#### 有意義だった工場見学

環境情報学部 環境情報学科 2年生 オウギョクティ

留学生の団体活動として、豊田自動車工場の見学に行きました。天気は暑かった、しかもほとんどの時間がバスの中で過ごした。工場に行けたのは有意義だと思います。工場の中では殆ど機械だけが働いていて、人はあまりいませんでした。一時間働いて、十分の休みを取って一切は規則的な感じというよりちょっと厳しいと思いました。



見学に行ってから工場はそういうものだなと、分かってきました。見学はよかったですけれど、ちょっと気になることあったんです。

今回の見学は新入生と一緒にだったけど。最後は名前さえ知らないまま、終わってしまったということはちょっともの足りなかったです。

留学生の数がだんだん増える一方で、助け合うのは非常に重要だと思う、ひとつになってほしい。「バラバラの砂より、砂で建てられた城のほうがずっと強い。」勿論、その中で先生たちの協力は欠かせないものだと思っています。

# ミニセミナー

## 「中国語クラブ員募集中！」

中国語や中国事情を知りたい人集まれ！

中国語が話せない初心者でも大歓迎！

活動内容

- ・中国人留学生とのおしゃべり
- ・楽しみながら学ぶ趣味の中国語
- ・中国語検定対策用の勉強会
- ・中国の諸事情を楽しく知る為の勉強会
- ・中国映画の鑑賞

などなど・・・

多くの参加者をお待ちしております。

詳細は、

- ・環境情報学部中国語担当 加納先生 (6507 研究室)



## 「英語クラブ会員募集中！」

楽しみながら英語が話せる！

初心者大歓迎！

パーティーなども企画します。

活動日：毎週月曜日（祝日の場合、

水曜日に変更）

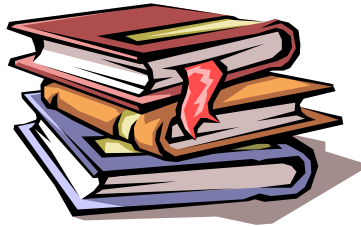
場所：9410 教室

時間：16:20～18:00

多くの参加者をお待ちしております。

詳細は、

- ・総合政策学部英語担当 カーク先生 (9519 研究室)



## 「留学生サッカークラブ会員募集中！」

留学生サッカークラブは、四日市大学 留学生のサッカーチームです。

月に 1 回の練習と試合を目標に活動を続けています。

サッカー大好きの方・・・初心者でも大歓迎。

性別不問。

詳細は、

留学生支援室へお問い合わせください。



## 留学感想文「留学生の辛さと日本人の優しさ」

経済学部 経済学科 1年生 リュウ ホウリ (中国)

私が、日本に来て2ヶ月が過ぎた頃でした。まだ、「あいさつ」程度しか日本語が話せませんでした。ある日、日本語学校の帰り道、自転車がパンクしました。

私はパンク修理の道具を探しに、スーパーへ出かけました。

その日は、スーパーが定休日。別のスーパーを探そうとしている内に、雨が降ってきました。

カサをもっていない私は、近くの薬屋さんに駆け込んで、紙とエンピツで自転車とパンチの絵を書いて、パンクを直したい思いを伝えました。

夜の7時を過ぎていました。

きっと薬屋さんは、こんな事を言ったと思います。

「どの店も、もう閉店しているよ。」

薬屋さんを出た私は、雨がひどくなっている事に気がつきました。

パンク修理もあきらめ、雨に濡れて下宿先まで、帰ろうと覚悟を決めた時、お店の中にいたお客さんが、外に出て来て、何かを語りかけてくれました。

30歳ぐらいのサラリーマン。とても上等なスーツを着ています。

でも、その時の私には何を話しているのか解かりません。

「私は、留学生です。日本に来たばかりです。日本語がわかりません。」と答えました。

そのお客さんは、両手を前に出して「そこに居ろ！」と言ったような気がします。

その後、高級そうな車へ駆け寄り、中から新しいカサを持って来て、私に差し出してくれました。

「プレゼント」その人はそう言うと、車に乗って帰りました。

その時、私は名前も連絡先も聞くことも、その人にお礼を言うことさえ出来ませんでした。ただ、頭を下げることしか出来ませんでした。

その後、何度か薬屋さんへ行き、そのお客さんの姿を探しました。

しかし、その人と二度と会う事が出来ませんでした。

その人の顔は今も覚えています。

カサは今でも私の宝物です。

もし、出会えたら、きちんとお礼を言いたいと思います。

私が、日本に来て初めての日本人の優しさに触れた一日でした。

# 2003四日市大学学園祭

10月10日(金)~10月12日(日)



テーマ:

『DON't DENY GIVE IT A TRY』  
自分達の道は自分達できめる

学園祭では10月11日と10月12日の2日間。去年好評であった『留学生のお店』を今年も開店します。

今年は 食べ物： 『中国の水餃子』、『バングラディッシュのチキンカレー』

『ベトナムの揚げ春巻き』

飲み物： 『中国の烏龍茶』

## ぜひ食べに来てください

その他、前夜祭(10日)に諏訪太鼓。KUNIKEN(津軽三味線兄弟ユニット)による演奏。

本祭初日(11日)夜には3組のお笑タレントによるライブを行います。

本祭二日(12日)には『ロリータ18号』を始めとするプロバンドのライブを行います。

## 留学生委員先生のご紹介

経済学科

西牧 義江 (4611 研究室)

メールアドレス：[nisimaki@yokkaichi-u.ac.jp](mailto:nisimaki@yokkaichi-u.ac.jp)

経営学科

岩崎 祐子 (4603 研究室)

メールアドレス：[yiwasaki@yokkaichi-u.ac.jp](mailto:yiwasaki@yokkaichi-u.ac.jp)

環境情報学科

加納 光 (6507 研究室)

メールアドレス：[kano@yokkaichi-u.ac.jp](mailto:kano@yokkaichi-u.ac.jp)

総合政策学科

坂東 行和 (9507 研究室)

メールアドレス：[banndo@yokkaichi-u.ac.jp](mailto:banndo@yokkaichi-u.ac.jp)

留学生支援室

佐藤 信行 (管理棟1階)

メールアドレス：[nobuyuki@yokkaichi-u.ac.jp](mailto:nobuyuki@yokkaichi-u.ac.jp)

いろいろな問題がある時、以上の先生とよく相談してください！！

編集後記：

▼初めて作った留学生新聞。まだ未熟ですが、今後読者のご意見やご感想を参考に、内容を充実させたいと思います。

▼ご寄稿くださった皆さん、協力してくださった関係各位に対して感謝申し上げます。